

## 「室蘭市まちのマークデザイン」が 「2023年度グッドデザイン賞」を受賞

株式会社インプロバイド(代表取締役 小林 元/札幌市)が担当した「室蘭市まちのマークデザイン」が、このたび2023年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。「室蘭市まちのマークデザイン」は、「作って終わりのデザインではなく、改めて自分の住むまちに愛着を持ち、誇りを持つためのプロジェクト」をコンセプトに制作しました。室蘭のこれからについて話し合う「まちのデザイン会議」を開催。子どもたちに自分の住むまちに興味を持ってもらうため、参加を希望する中学生20名をメインに、まちの事業者も参加する会議体です。「自分が好きな室蘭は?」「イメージするカラーは?」と誰もが考えやすい話題から「室蘭について知ること」をはじめ、各回の様子は室蘭市が発信していきました。全7回開催し、全員分のマークが完成。同時にマークをつくるワークショップを開発しました。現在、小学校の地域学習の教材としても利用されています(以上趣旨)。

名 称: 室蘭市まちのイメージづくり

概 要: 北海道の南西部に位置する人口8万人弱の室蘭市。開港150年・市制施行100年の記念に企画されたマークのデザイン。室蘭市の市民一人ひとりが「自分の住むまち」について考え、共有し、制作する参加型の仕組みをデザインしました。

デザイナー: 株式会社インプロバイド  
ディレクター 片桐 由貴, デザイナー 名畑 文草, デザイナー Chan Queenie



### グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

最近では地方自治体にもブランディングという概念が取り入れられるようになった。しかし、現状の街のブランディングは、プロのデザイナーにマークやコピーを依頼して終わりというものが多い。市民が自分ごととして感じられるようなインナーブランディングができていない。室蘭市ではブランドマーク作成のためにまずは市民参加の「まちのデザイン会議」を重ね、その過程を公開し、マークは完成して終わりではなく、それを地元の小学生が地域学習の教材にも使用。真の意味でのブランディングになっている。

### グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



※「室蘭市まちのイメージづくり」の写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先  
株式会社インプロバイド 担当:片桐 TEL:011-211-6578 E-mail:yuki@improvid.co.jp



むろらん  
**室蘭市のみんなでつくる、  
 まちのマークデザインの仕組み。**

北海道の南西部に位置する人口8万人弱の室蘭市。  
 開港150年・市制施行100年の記念に企画されたマークのデザイン。  
 室蘭市の市民一人ひとりが「自分の住むまち」について考え、共有し、  
 制作する参加型の仕組みをデザインしました。



## デザインのポイント

1

制作過程で  
 「まちの良さ・好きなところ」を  
 実感・共有できることが目的

2

室蘭に住むひと、関わるひと、  
 すべてのひとがデザインできる  
 マーク制作の方法

3

室蘭市の小学生たちが  
 地域学習の授業に取り入れ、  
 制作に参加中

## デザインの流れ

①

まちのデザイン会議を組織



②

まちの好きなところ、  
 イメージカラー等を集める



③

マークをつくる  
 ワークショップを開発/実施



④

公共的な施設、乗り物、  
 カントリーサインへ展開



⑤

地元小学校で地域学習の  
 教材として利用





これからは、  
みんなが楽しいと思える  
アウトプットを生み出して  
行きましょう！  
佐藤大輔 座長



MY室蘭の海と  
夕日、夜景を組み合わ  
せてつくりました。  
東明中学校 | S.Fさん

みんなできたもの  
は違ったけれど、奥に  
あるひとつ同じ気持ち  
を感じました！  
港北中学校 | S.Mさん



関わることが  
できてとても  
うれしく思います。  
星蘭学校 | A.Sさん



こういった  
体験は初めてでした。  
楽しかったです。  
またやりたいです！  
桜蘭中学校 | K.Nさん



白鳥大橋とかもめと  
山を組み合わせてつくり  
ました。ウェルカムボードに  
使ってみたいです。  
東明中学校 | S.Iさん



自分ひとりでは  
気づかなかった室蘭の  
魅力を知ることができ、  
勉強になりました。  
室蘭西中学校 | N.Iさん



室蘭市 市長  
青山 剛



室蘭市 企画財政部  
企画課 企画係(当時)  
鈴木 晶子

このマークには皆さんの「室蘭が好き。」という思いが詰まっています。市民からの人気も高い白鳥大橋や地球岬などのモチーフを、室蘭の海や空の青、自然豊かな緑といった室蘭カラーで表現したマークは、可愛らしく、室蘭らしさが伝わると評判で、あらゆるシーンで使われ始めています。マークをきっかけに室蘭を知って室蘭を好きになり、たくさんの人に室蘭の良さが広まっていく、この流れがずっと続くことを願い、日々マークを使っています。

作って終わりにせず、広めていくのは大変です。作ることがゴールになり、その後の地道な取り組みが長い道のりに感じるからです。ですが、今回のプロジェクトは周りの人に恵まれました。マークづくりのときは中学生が、使う段階になってからは、地元の企業や団体といった様々な方が関わってくれて、マークを通じてまちに愛着を持つ取り組みが広がっていると感じます。

## 株式会社インプロバイド



ディレクター  
片桐 由貴



デザイナー  
名畑 文草



デザイナー  
Chan Queenie

一般的なシティプロモーションのマークデザインは、実際に住んでいる人たちにとって馴染みがないものになるケースがあると考えました。そうであれば、子どもから大人まで誰でも参加できる仕組みにできないだろうか。観光パンフレットには載らないけど、住んでいる自分にとって好きな場所やモノ、思い出までもを伝え合い、認め合うこと。マーク制作に参加してくれた市民のみなさんが、自分の住むマチに愛着を見直して、誇りを持つこと。それを実現しながら、マークが作られていくことを目指したことが他事例とは異なる点です。



コンセプト  
ムービーも  
見てね！